



議会を傍聴しましょう!

次の定例会市議会は、
6月4日～6月14日
までの予定です。



今定例会における一般質問は、
3月15日に行われ、10名の議員が
市政全般について、当局の所信を
ただし、活発な議論が展開されま
した。

質問者全員の質問と答弁の要旨
を質問者の原稿に基づき発言順に
掲載しています。

地方教育行政について

平成の会 今井敏博

**教育水準の確保と学校の
自由度の拡大について**

問 教育水準の確保につ
いて市の見解を伺います。

答 少人数学級によるき
め細かな指導の充実のため、
県費で二十八名の特別配
置がされています。

市費では、指導推進支援
員が二十五名配置され、
個別支援を行い学習上の
悩み解消に努めています。

問 教育の実施主体であ
る学校の裁量を拡大する
ことにより、特色ある学
校づくりを目指すべきだ
と考えますが、教育委員
会の考えを伺います。

答 総合学習の時間にお
いては、学校ごとに内容
を定めることになってお
り、校区内の自然や特色
ある産業、歴史的遺産な
どについて調査発表する
などの活動をしています。

問 学力向上のため、教
員の指導力向上の取り組
みについて伺います。

答 キャリアに応じた研
修計画への参加を義務づ



部活動の風景

けています。また、学力
向上推進校の指定をし、
指導法を研究しています。

問 教育委員会のあり方につ
いて

答 教育委員会のチェツ
ク機能の低下、また、協
議決定の経過が見えにく
いとの指摘があるが、教
育長の考えを伺います。

問 第三者事業評価を行
い事務点検評価報告書を
公表しています。教育委
員より修正意見も出され、
チェック機能は健全です。
協議内容等は、今後市ホ
ームページに掲載するな
ど検討していきます。

公害防除特別土地改良事業について

ふおれすと 高橋 由信

客土材について

問 地元より県の桑園の
跡地10haの表土を客土材
として使えないかとの要
望があったと思うが、そ
の対応について伺います。

答 工業団地として公社
が開発造成する事となり、
その良質な表土を客土材
として使いたい、と公社
に働きかけたが、調整が
つかず断念しました。

問 二つの事業が同じ市
内にあり数キロしか離れ
ていないので、運搬の経
費が安く済み税金の節約
になる。県の桑園であつ
たので、良質でしかも信
頼が出来る。進出企業に
とっても表土を剥ぐこと
で地盤が安定する等、こ
れほどの好条件が整って
いながら、なぜ断念した
のか、県の担当者も大変
驚いていた。又昨年十一
月の公社の計画では、三
万～五万m³の表土が使える
予定であったが、地元
に相談もなく、農林課が
十二月に断ったと聞くと

再度理由を伺います。

答 公社と検討、協議を
重ねた結果、日程や実施
見込等、多面的に検討し
た結果であります。

問 当事者である地元
の推進委員会をないがしろ
にして出した結論の責任
は大きいと思います。安
中市が本気で、この事業
を進めようという強い意
志があったなら、桑園の
土は簡単に確保出来たは
ずです。全国でも畑地で
土壌汚染区域指定を受け
ているのは、ここ安中だ
けです。再度協議して頂
くよう強く要望します。



土地改良事業予定地